

令和3年度事業報告書

埼玉県NPO基金ニュース

地域の課題に取り組むNPOを応援



令和3年度に実施した埼玉県NPO基金助成事業

- スタートアップ事業
- 特定分野事業
- SDGs事業



埼玉県マスコット
コバトン&さいたまっち

感謝状の贈呈式

令和3年度にNPO基金へ多大な寄附を頂いた皆様へ感謝状を贈呈しました。（贈呈日順・敬称略）

● 埼玉県浦和競馬組合



● JSA中核会埼玉ブロック



● 株式会社小山本家酒造



● カツミテクノ株式会社



● 一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会



● 日本たばこ産業株式会社



● 一般財団法人 さいたま住宅検査センター



● 国際ロータリー第2570地区



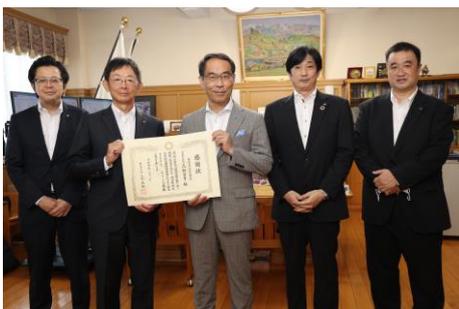
● 埼玉織物工業協同組合



● 公益社団法人 全日本不動産協会埼玉県本部



● 株式会社富士薬品



10,900,514円

令和3年度寄附者一覧

希望者のみ掲載
※五十音順・敬称略

企業・団体の皆様

一般社団法人埼玉県医師会
 一般社団法人埼玉県歯科医師会
 株式会社テレビ埼玉
 株式会社ぶぎん地域経済研究所
 久喜市立久喜東中学校
 埼玉県遊技業協同組合
 嵯峨野株式会社
 第一生命保険株式会社大宮支社
 東京キリンビバレッジサービス株式会社
 ときがわ町立玉川中学校
 ネットヨタ東埼玉株式会社
 明治安田生命保険相互会社川越支社
 リコージャパン株式会社埼玉支社
 和光紙器株式会社



個人の皆様

朝倉征雄	鎌田雅代	西村憲一
新井恵子	川田修司	原亮太
井伊悠介	木内賀南子	平賀正巳
伊澤孝	木村晶子	平林玲
石阪孝司	小泉勝	深谷啓介
井上淳子	小宮哲夫	深谷豊
今尾みどり	近藤直人	細川梨沙
今村美和	阪田京子	前田真子
植田菜生	佐藤ヨシ子	松本富美男
内山裕司	高野八千代	水澤由美子
江原恵子	高橋亜紀	三本圭二
遠藤芳子	高橋朋子	峯村紗希
小川真紀子	田中直人	森公子
嘉規智織	田中允	谷島久美子
鹿島仁	寺岡英一	和久井かをる
金子慎之介	中村奈津子	

県民の皆様には、日頃より共助社会づくりの推進に御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。また、令和3年度は538件の御寄附を頂きました。寄附者の皆様に深く感謝申し上げます。

本県では、埼玉県NPO基金を平成16年度に設置して以来、NPOの自発的・継続的な活動を支援するため「民が民を支える」のスローガンの下、皆様からの御協力によりNPOの助成事業を実施してまいりました。

昨年、埼玉県は150周年を迎えましたが、今、時代の大きな転換点に差し掛かっています。人口減少や急速な少子高齢化が進み、地域の担い手不足などが懸念されます。

そうした中、保健・医療・福祉の増進やまちづくり、子どもの健全育成など、各地域において様々な社会課題の解決に取り組むNPOは、県の目指す、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に必要不可欠です。

この令和3年度事業報告書「埼玉県NPO基金ニュース」は同基金を活用して実施した事業の成果をまとめたものです。

この報告書を通じて、NPOの活動に関心を持ち、趣旨に御賛同いただければ幸いです。

今後ともNPOの活動がますます活発になるよう、皆様の一層の御支援と御協力を心からお願い申し上げます。



埼玉県知事 大野元裕

令和3年度 埼玉県NPO基金助成事業について

令和3年度は埼玉県NPO基金を活用した3つの事業を実施し、合計21のNPO法人に助成しました。

●スタートアップ事業

NPO活動をこれから本格化しようとする、設立から3年以内のNPO法人の実施する事業に対して助成

助成総額 (助成限度額)	採択団体	
100万円 (20万円)	特定非営利活動法人リマインド	特定非営利活動法人げんきネット武蔵台
	特定非営利活動法人くらしの相談室	特定非営利活動法人NPUサイエンスアカデミア
	特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー	

●特定分野事業

寄附者の指定した活動分野においてNPOならではの独創的なアイデアや先駆的な視点で行う事業に対して助成

応募枠・ネーミング名	助成総額 (助成限度額)	採択団体
ネーミング枠 一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まい・まちづくり支援事業	45万円 (45万円)	特定非営利活動法人都市づくりNPOさいたま
ネーミング枠 株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業	100万円 (50万円)	特定非営利活動法人自然環境観察会、 特定非営利活動法人小川町風土活用センター
ネーミング枠 金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業	100万円 (50万円)	特定非営利活動法人熊谷市ほたるを保護する会、 特定非営利活動法人埼玉ハンノウ大学
ネーミング枠 埼玉織物工業協同組合 災害救援・防災支援事業	60万円 (60万円)	特定非営利活動法人チーム東松山
ネーミング枠 損保ジャパン代理店JSA中核会 防災・地域安全支援事業	45万円 (45万円)	特定非営利活動法人わが街さやまの防災ネットワーク
ネーミング枠 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 地域安全・災害救援支援事業	45万円 (45万円)	特定非営利活動法人彩の国ママ倶楽部
ネーミング枠 浦和競馬SDGsプロジェクト～ジェンダー平等推進支援事業～	90万円 (45万円)	特定非営利活動法人ヒューマンシップコミュニティ、 特定非営利活動法人AIKURU
ネーミング枠 Sankeiキッズ募金 子育て振興事業	45万円 (45万円)	特定非営利活動法人MiKOねっと
ネーミング枠 埼玉織物工業協同組合 子どもの健全育成支援事業	45万円 (45万円)	特定非営利活動法人文化活動支援会まつり
ネーミング枠 浦和競馬SDGsプロジェクト～働きがい推進支援事業～	90万円 (45万円)	特定非営利活動法人あいアイ、 特定非営利活動法人マミング
分野指定枠 みどりと川の再生	50万円 (50万円)	特定非営利活動法人はとやま環境フォーラム

●SDGs事業

SDGsのゴールの1つである「パートナーシップ」をもって2つ以上の団体と連携して取り組む事業に対して助成

応募枠・ネーミング名	助成総額 (助成限度額)	採択団体
ネーミング枠 JT地域とのつながりを"Rethink" SDGs貢献事業	50万円 (50万円)	特定非営利活動法人NORDICあさか

特定非営利活動法人 リマインド

さいたま市 2019年設立

事業名：医療と地域をつなぐみんなの町の保健室
総事業費：88,285円 助成額：88,000円

さいたま市浦和区針ヶ谷にあるコミュニティサロンで、地域の高齢者を対象に「町の保健室」を開催しました。毎回当法人の専門職が講師となり、食事、嚥下、人生会議、フレイル、認知症予防、薬相談など様々なテーマで講座を行い、参加者の皆さんが感じている身体の不安や悩みなどを相談できる機会を作りました。

講座後は参加者の皆さんから元気の秘訣を聴くこともでき、コロナ禍で外出する機会が減ってしまった近所の方が常連で来てくれるようになるなど、色々な交流をすることができました。



特定非営利活動法人 暮らしの相談室

春日部市 2019年設立

事業名：相続・成年後見に関する無料相談会・講座事業
総事業費：211,779円 助成額：200,000円

相続・成年後見に関する無料相談会を春日部市・宮代町の公共施設でそれぞれ毎月2回ずつ行い、相続・遺言に関する講座を春日部市・宮代町でそれぞれ1回ずつ開催しました。

無料相談会・講座ともに、高齢者に大変好評で、特に講座では近年注目されているエンディングノートの書き方についての講義が喜ばれました。

会場市町の外から相談に来られた方もいたので、今後は近隣の市町でも開催し、より多くの住民のニーズに応えたいと考えています。



特定非営利活動法人 アグリドッグレスキュー

春日部市 2021年設立

事業名：動物愛護センターに収容された犬を保護・一時飼養し、終生飼養家庭につなげる保護犬譲渡会
総事業費：404,026円 助成額：200,000円

複数の動物愛護センターから犬を預かり、健康の問題や未去勢などの犬に対し、医療処置を受けさせた後、ボランティアスタッフが自宅で預かり、家庭犬としてのしつけや生活になれるためのお世話を行いました。

日々の様子はブログで発信し、里親家庭を募集するとともに10月には譲渡会を開催し、ライフスタイルやご希望とのマッチングを行いました。

結果、8月から10月の間で20頭の犬を里親家庭につなぐことができました。



特定非営利活動法人 げんきネット武蔵台

日高市 2021年設立

事業名：農園部-男の居場所づくり事業
総事業費：254,310円 助成額：200,000円

現役をリタイアし家に引きこもりがちなシニア世代の方が地域に出るきっかけとなる居場所作りを目指し、約500坪の休耕農地を地域の人々が農園活動を楽しめるよう整備しました。

畑は、共同耕作農園と、個人の趣味農園の2区分を作り、毎週土曜日の共同畑作業(約2時間)と個人が思い思いに野菜作りを楽しむ作業を行い、毎週10人前後の参加がありました。

収穫については、夏の枝豆試食会、秋のサツマイモ収穫祭、芋煮会を農園活動に参加していない地域の人も参加できる形で実施し、当事業活動を住民に広く知ってもらう機会となりました。



特定非営利活動法人 NPUサイエンスアカデミア

長瀬町 2019年設立

事業名：秩父サイエンスアカデミー及び学校教育支援活動
総事業費：179,742円 助成額：179,000円

主に子どもの科学する心を醸成することを目的として以下の3事業を実施しました。

- ・秩父サイエンスアカデミー(実験の部):「オゾン層の破壊」を、紫外線感知絵具や植物の色素を用いた紫外線をカットする実験から考えさせました。
- ・秩父サイエンスアカデミー(研究発表の部):自然をテーマに研究している中学生、高校生、大学教員、一般の研究者の発表会を実施し、自然界の課題を科学的にとらえる機会としました。
- ・学校教育支援の一つとして、薬物乱用防止教室を上尾市内の中学校4校で実施しました。



特定分野事業

- ネーミング枠 14事業
- 分野指定枠 1事業

ネーミング枠	一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まい・まちづくり支援事業
事業名	訪ねたい・使い続けたい建築選定事業
法人名	特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま【さいたま市】



活動内容

バリアフリー、アートなど都市計画の範囲を幅広く捉えて、大学教員、コンサルタント、自治体職員などから構成される都市づくりの専門家集団として活動しています。また、他の団体と協働した活動を積極的に対応しています。

事業取組

1950年代から2000年代にかけて建築された公共的利用をしている建物を訪れ、「訪ねたい」「使い続けたい」建物として再び活躍の場与えられる足がかりとなるよう県内各地を訪れ、お話を伺い、それらの情報を取りまとめたwebページを作成しました。
また、それらの建物の調査結果やコミュニティセンターなどに活用する取組を発表するシンポジウムを実施しました。

事業成果

83件の建物情報、コラム・街歩き案内などの記事合計14本を収録したwebページを構築することができ、県内には優れた社会資本が形成されてきたことが実感できました。
今後もこれらの地域資産を活用し、豊かな地域空間を醸成していくために、市民の活動を促すための機会や情報の提供を進めたいです。



総事業費

459,770 円

助成額

450,000 円

ネーミング枠	株式会社富士薬品ドラッグセიმス 環境保全支援事業
事業名	都市近郊に『緑のオアシス』を造成保全する手法を開発する
法人名	特定非営利活動法人 自然環境観察会【上尾市】



活動内容

都市化で自然生態系が減少している大宮台地北部の桶川や上尾などの空き地に多様な植物を保全し「緑のオアシス」を作り、チョウやクモ、鳥などの「いやしの生き物」を温存する活動を行っています。地域の観察会や環境学習会も行っています。

事業取組

上尾、桶川、幸手、久喜などの休耕田、空き地、庭の一角に多様な植物を植栽した「緑のオアシス」を創成し、餌植物、蜜源植物、秋の七草を植栽し、土着の生き物、昆虫類や鳥類が集まるように保全しました。そこで動植物の発生数調査をするとともに、地域の親子、子どもを対象に野外観察や体験学習、田植え、イナゴ採集会などを開催しました。

事業成果

緑のオアシスでナミテントウ、ジャコウアゲハ、トンボ類、70数種を保全候補種に選定しました。それらの成果は広報誌、オンライン研究会・講習会などで公表しました。
今後は、県内の都市(住宅街)、農村(休耕地)、森林、あぜ道などの空き地の一角に、生活の質を高め、有用な生き物が集まる「緑のオアシス」の造成方法を地域に普及していくとともに、緑のオアシスの広報や観察会・標本作りなどの環境学習を対面やオンラインで積極的に推進していきます。



総事業費

501,320 円

助成額

500,000 円

ネーミング枠

株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業

事業名

液肥の効果的・効率的活用の普及促進事業

法人名

特定非営利活動法人 小川町風土活用センター 【小川町】



活動内容

地域由来の資源を循環活用することによって、地域産業、地域社会を持続的に発展させる活動に取り組んでいます。主には、家庭生ごみ、学校給食残渣をバイオガスプラントで処理を行い、液肥を生産し生産農家で活用しています。

事業取組

- プラント運営の経済性向上や、より効果的に液肥を使えるようにするために、次の活動を行いました。
- (1)液肥の効果検証
農家7軒の協力を得て、液肥散布による畑の土の変化、及び作物の出来栄えの差異を確かめました。
 - (2)土壌の改良方法
SOFIX農業推進機構の方々に現場視察をしていただき、土壌分析結果に対する的確な改良方法をご教授いただきました。
 - (3)液肥散布の労力軽減
自動車に接続して作動する電動ポンプを使った液肥散布装置を6軒の農家にモニター使用してもらい、最も効率的な散布装置を作り出すことができました。

事業成果

専門機関の調査により、土の状態に対して処方すべき資材は液肥だけではなく、幅広く地域由来の農業資材を使うことの大切さが理解できました。

また、従来のバケツを用いた散布に比べて、液肥散布装置による労力軽減効果が大きいことが確認できました。これにより散布時の労力が課題の液肥を農業資材の選択肢として手軽に使えるようになりました。

地域に存在する有益な資材を効率よく使っていきけるようにしたいと思います。

総事業費

505,099円

助成額

500,000円

ネーミング枠

金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

事業名

ホテルの里の子育て事業

法人名

特定非営利活動法人 熊谷市ほたるを保護する会 【熊谷市】



活動内容

原風景の残る熊谷市江南地域には、6月になると自生のゲンジボタルが縦横無尽に用水を飛び交います。10年前、ホテル等が捕獲される状況を受け、地域を挙げて「熊谷市ほたるを保護する会」を設立し、行政と連携した保護活動に取り組んでいます。

事業取組

当法人はホテル保護のため、里山整備を積極的に進めています。下刈りなど実施している里山3,500㎡の土地を本会に寄贈する申出があったため、今回の補助金を受けて、この里山を子育て世代が積極的に活用していただけるように調査を実施しました。また、保育園や幼稚園、こども園、小学校など近隣の幼児を扱う機関の約1,000人に対してアンケート調査や、里山保全の進め方をより深く理解するため先進地視察を実施しました。

調査結果の発表は事前のチラシ配布時の感触は良かったのですが、コロナの急速な拡大で出席者は想定よりも少ない結果となってしまいました。

事業成果

アンケート結果で、里山整備に時間が取れれば親子で参加したい人が回答の半数の200人いました。来年度からはこれらの人が里山整備活動に親子で参加していただけるよう事業を進めてまいります。

また、アンケート分析などを依頼した機関からホテル出前講座の依頼がありました。こちらからも働きかけてより多くの機関に当法人の活動を知り、御協力いただけるよう活動を続けていきます。

総事業費

504,555円

助成額

410,000円



特定分野事業

ネーミング枠	金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業
事業名	埼玉ハンノウ大学リバービーチ・キャンパス事業
法人名	特定非営利活動法人 埼玉ハンノウ大学【飯能市】



活動内容

飯能市の全体を大学の「キャンパス」に見立てることでメディア化し、まちに関わるすべての層が参加できる「授業」を出会いの場として、課題や志を持った市民・企業・行政のネットワークづくりを行っています。

事業取組

飯能市内にある河川域は、自然美溢れた地域として年間を通じて多くの川遊びやキャンプを楽しむ人々で賑わっています。その反面、利用客のマナーの悪さ、ゴミの放置などが問題となっています。本事業では「都心に一番近い自然豊かな川を守り育てる」ことを掲げ、市民が憩う河原(リバービーチ)を大学のキャンパスと見立てて、地域住民が理想とする、清く美しい川づくりを目指した親子を対象とした自然環境保全教育を実施しました。



事業成果

全5回の授業を実施し、定員の50組100名の方にご参加いただきました。コロナ禍の開催となり、定員を各回10組20名までと絞らざるをえず、参加を希望したが叶わない方々が多く出てしまいました。

運営に当たっては、ポスターの駅構内への無料掲示や遊漁料の免除、釣り道具一式と救命ジャケットの物品の提供と複数の企業と協働できた事は大きな成果でした。この連携を継続するためにも、令和4年度も同様の「リバービーチ・キャンパス」事業を計画しています。

総事業費	608,632 円	助成額	500,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	埼玉織物工業協同組合 災害救助・防災支援事業
事業名	令和元年東日本台風復興支援・防災支援事業
法人名	特定非営利活動法人 チーム東松山【東松山市】



活動内容

まちづくり・コミュニティカフェ・東日本大震災被災地復興支援の3事業に加え、2019年10月の令和元年東日本台風の支援を契機に、社会福祉(フードバンク東松山)・災害支援の2事業を追加し、東松山市を中心に活動を続けています。

事業取組

2019年10月の令和元年東日本台風の直撃により東松山市内では600以上の世帯で水害が発生しました。災害から2年が経過した現在でも被災者の生活再建は道半ばであり、今回の事業では特に高齢被災者の希望する移転元地や浸水した田畑の除草作業、浸水した危険樹木の伐採などを「復興ボランティア」として実施しました。

また、次の災害に必要な防災支援体制づくりとして、被災当時小学校4年生であった宮城県東松島市の若き語り部を招いての学習会や宮城県を訪問してコミュニティ再生の取組や防災の取組の話を伺うなど、東日本大震災被災者との交流を通じた防災体験学習を実施しました。

事業成果

復興ボランティアについては延べ50名が参加し、学習会には東松山市内の高校生や大学生の防災サークルを含め82名の参加がありました。

今回の事業を通して、どこでも発生する危険性のある災害の対応として、地域住民にも災害ボランティア活動がどのようなものか示すことができました。今後、東日本大震災の被災地、各自治体や災害ボランティア団体と連携する体制づくりにも尽力したいです。



総事業費	661,277 円	助成額	600,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	損保ジャパン代理店JSA中核会 防災・地域安全支援事業
事業名	防災カフェ事業
法人名	特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク【狭山市】



活動内容

平成26年8月に活動を開始し、防災に関連した啓発活動並びに地域の防災力の向上を目指しています。また、女性防災リーダーの育成を目的とし、いつ起きるか予想出来ない大災害において、要援護者を置き去りにしないよう、「顔の見える関係」そして「絆づくり」のため防災カフェを開催し、地域に寄り添った会となっています。

事業取組

専門家の話を聞き、参加者同士が防災について交流したり、防災食の作成体験や試食を実施する防災カフェの開催を予定しておりましたが、突然のコロナ禍となったため、大会場で人数制限し十分な参加者同士の距離を取ることで安全管理を徹底した講演会としての開催となりました。

11月・12月・1月に開催し、3回とも防災問題を多面的に捉える、造詣の深い講師6人に登壇していただきました。目から鱗の斬新な内容で大好評でした。応募者も多く、定員オーバーにより御参加いただけない方も出ました。

事業成果

講演会では3回の実施で合計114名に参加いただきました。従来の活動にはない方法での実施となりましたが、今回の事業を通して狭山市民大学、消防団、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会などの協力者の方々と当法人の会員とが一致団結できたと実感しました。また、多数の応募者があり、今までの活動が地域においてご理解いただけているとも実感しました。

コロナ禍の先行きが不透明な状況の中で、歓談が難しいようであれば、カフェ事業は今後も講演会としての開催を検討していきたいです。



総事業費	460,998 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 地域安全・災害救援支援事業
事業名	わが子を守るママ達の防災ママ連携構築事業
法人名	特定非営利活動法人 彩の国ママ倶楽部【東松山市】



活動内容

育児経験があるママ達が育児中のママ達を全力で応援するため、さまざまなイベントを開催する法人です。年に2回公共施設にて無料イベント「マザーズ・デイ」を開き子育てママ達への感謝祭を行ってきました。令和元年10月には台風19号による河川敷氾濫の水害支援を行い、企業団体からの衣類・おむつ・ミルク等の支援を頂き、子育て中のママ達の目を通して瞬時に必要な支援活動を行うことができました。

事業取組

12月19日吉見町吉見観音で毎月行われている子ども食堂「しいの木広場」にブースで参加させていただき、子供服の配布やミニ講座・防災講座の座談会を開催しました。

例年開催しているボランティアイベント「マザーズ・デイ」については、2月17日コロナ禍で人が密になる事を避けるため、従来の公共施設ではなく、オンラインにて防災セミナーの開催にチャレンジしました。

事業成果

しいの木広場では団体を知らない地域の方にお話を聞いていただく事ができました。活動を知っていただくためにもさまざまな地域のイベントに防災講座を取り入れてもらえるかお願いしていきます。

今回、コロナの影響を受けて取り入れた事は全て団体の活動に良い影響となりました。コロナが落ち着き、今まで行ってきた公共施設での無償ボランティアイベントが開催できたとしても、オンラインによるセミナーを月1回は行っていく予定です。

今後も、今回お世話になった講師の方々やほかの専門家のご意見等も聞きながら地域のコミュニケーションを大事にした、防災への意識づくりを行っていきます。



総事業費	464,567 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

特定分野事業

ネーミング枠	浦和競馬SDGsプロジェクト～ジェンダー平等推進支援事業～
事業名	ケアする人をケアする場所づくり事業
法人名	特定非営利活動法人 ヒューマンシップコミュニティ【さいたま市】



活動内容

医療・介護職に従事する会員が多い団体です。心身ともに健康で自分らしく楽しく生きがいを持って過ごせる環境づくりのため、体組成計を使いカフェ、ワークショップとともに健康相談室を継続実施しています。

医療介護専門職の健康サポーター養成講座、介護予防リーダー研修のほか、多くの講演会を実施しています。

事業取組

介護・医療職やヤングケアラーは女性が多いとされています。「ケアする人をケアする」のコンセプトの下、講演会とカフェ&マルシェを介護福祉関連の内容で実施しました。

講演会では介護体験談のほか食支援、口腔ケアの仕方など、ヤングケアラーのような専門的な勉強をしていない方では聴く機会の少ない、それでいて身近な問題を取り上げ好評でした。

カフェ&マルシェでは日ごろの疲れを癒す場所を、ワークショップ・マルシェでは医療・介護系で働く女性を中心に仕事とは別に自分らしく活躍する場を提供することができました。

事業成果

講演会はカフェ&マルシェとの同時開催の際は対面としましたが、オンラインのみ、対面オンライン併用と様々な方法で開催し、多くの方に参加いただくことができました。また、実施の際は会場として商店の一部を借りたほか、カフェ店やパン屋、マッサージ店など事業を通じ、地域の方々にも活躍していただきました。今後も、地域に必要とされる講演を定期的の実施していく予定です。

カフェ&マルシェでは、地域の実情、参加される方の思いを汲み、形にとらわれずに展開していきます。

総事業費	452,903 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	浦和競馬SDGsプロジェクト～ジェンダー平等推進支援事業～
事業名	食と職で女性を元気に！サツマイモ栽培・加工事業
法人名	特定非営利活動法人 AIKURU【入間市】



活動内容

入間市内に常設の子育て支援センターを2か所、出張広場を8か所開設し運営しています。多くの親子さんが来所し、子育て中にほっとできる時間を過ごしています。

子育て環境の向上を目指し、子育て支援の枠を超え幅広い活動を実施しています。

事業取組

女性の働き方、親子の安全な食の確保、不耕作地の解決などを通じ持続性のある環境作りを目指すため、市内の不耕作地を借り、畑の開墾、サツマイモの栽培から収穫を実施しました。

農業は自分で仕事量の調整が可能のため、こどもの突発的な対応(発熱など)に左右されることなく従事することができる上に、土を触ることでのストレス解消効果も期待できます。

また、農業者から指導を受ける勉強会を通じ環境や食について考えることで、一時的な体験ではなく、作り、加工し、収益を得る「6次産業」へと繋げるきっかけとなることが期待されます。

農業通信や冊子の発行により、この活動を子育て世代以外にも広く周知することができました。

事業成果

8か月間で160日間の畑仕事を実施し、芋掘り体験は44組の親子が参加、農業者の講義は7名の参加があり、焼き芋販売では60kgのさつまいもを完売しました。

天候による不作もあり、当初予定していた商品開発、販売には至りませんでした。ペーストを作りパン職人、菓子作り職人の女性達に開発を持ちかけました。また、来期に向け法人内で蒸しパン等の試作を実施し、法人の実施することも食堂で振舞いました。

今後はこの事業をより発展し、加工品開発及び販売を実施し女性の就労に繋がりたいです。

総事業費	927,275 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	Sankeiキッズ募金 子育て振興事業
事業名	「たのしくあーそーぼ！！」事業
法人名	特定非営利活動法人 MiKOねっと【三郷市】



活動内容

全年代の方々が地域の中で、人とのふれあいの中で心豊かに過ごせる地域・まちをつくることを目指し、「地域の子育て力をアップし、三世交代の場づくり」を実施しています。そのほか、子育て広場、放課後子ども広場、高齢者サロン等も実施、運営しております。

事業取組

コロナ禍にあって、乳幼児を育てている保護者には、家庭で孤独な子育てとなっている例が増加しています。そこで、3密対策を講じながら、不安や悩みを語り合いみんなで子育ての楽しさを共有できる「親子あそび&ママのしゃべり場」(全16回)を実施しました。

- ①親子あそび&ママのしゃべり場(14回)
- ②親子表現あそびコミュニケーションワークショップ(1回)
- ③はじめてのお芝居「ふうふうあーん」(1回)



事業成果

参加者数は延べ、保護者167人、子ども196人、スタッフ102人です。アンケートには、「コロナ禍でこのような機会に恵まれなかったのが、貴重な体験をさせていただき感謝です」と高評価を得ました。

23組の参加申込みがありましたが、オミクロン株の流行でなかなか全員が一堂に揃う状況にはありませんでした。しかし、参加した方々は交流し、情報交換し合い、友達の輪が広がりました。

全16回実施する中で、ママのしゃべり場は徐々に少なくなりました。子どもの緊張感がなくなり笑顔が増えてくるのを見て、「ママ同士のしゃべり場も大切だが、子どもと一緒にたくさん遊んで、子どもの笑顔を見る方が、自分たちも楽しくなり、心が解放される」ことが分かったからのようです。子どもの目線であそびを考え設定し、見守ることの大切さがスタッフにもわかったとてもよい機会でした。

総事業費

452,875 円

助成額

450,000 円

ネーミング枠	埼玉織物工業協同組合 子どもの健全育成支援事業
事業名	第8回青少年劇団合同公演「続・かぐや姫」事業
法人名	特定非営利活動法人 文化活動支援会まつり【川越市】



活動内容

県内の芸術文化活動の発展を支援するための活動を行っています。青少年劇団合同公演と銘打ち、劇中にダンスや歌を盛り込むことで多岐に渡る文化活動団体を1つの舞台上に上げ、団体同士の交流や技術向上に寄与する活動をしています。

事業取組

かぐや姫を題材とし殺陣やダンスなどを取り入れ、観劇経験がない方々に舞台芸術の魅力が伝わるよう構成したオリジナル台本「続・かぐや姫」を、仲間たちと協力して目標を成し遂げていくという、素晴らしさや感動を味わうという目的の下、10代から30代の埼玉県民を対象に、舞台の出演者、技術スタッフなども広く公募し、公演を開催しました。未経験者でも演劇活動ができる場としてコロナ禍でも多くの参加者が集まりました。

かぐや姫という有名な作品を基にすることで、老若男女問わず、興味を持っていただきやすかったと思います。また、今まで観劇に縁がなかった方々にも観劇しやすい環境を提供することができたと思います。



事業成果

公演の来場者、参加者それぞれからアンケートを取ったところ、来場者からは、「知人が出演しているので楽しかった」、「自分の息子が出演したが、あんな大きな声を出しているのを初めて見た」、「次回もぜひ観覧したい」など好意的な感想をいただきました。

また、参加者からは、「次回もぜひ参加したい」という感想が多く、本事業のような芸術活動を体験する機会のニーズが確かに存在することを改めて認識することができました。

本事業で初めて演劇活動に触れたという10代・20代の参加者が、事業終了後に当団体の別事業に参加をしたり、また別団体の活動に参加をしたりと、少しずつですが、文化芸術活動の広がりにも寄与することができました。

総事業費

926,052 円

助成額

450,000 円

特定分野事業

ネーミング枠	浦和競馬SDGsプロジェクト～働きがい推進支援事業～
事業名	アート創作活動と販路の整備を通じた障がい者の働きがい創出事業
法人名	特定非営利活動法人 あいアイ【川越市】



活動内容

「障がい者の創造活動を通じた自立支援」を目的に活動を行っています。
現在は、川越市でバリアフリーアートの「あいアイ美術館」、東京都北区で就労継続支援B型施設「あいアイ工房」を運営しています。

事業取組

今回、実施した事業は①アート作品の制作、②支援企業の拡充、③ECサイト開設による経済的支援体制の創出、の3つです。
アート制作では、埼玉県浦和競馬組合様のご厚意で実際に浦和競馬場での写生会が実現し、迫力ある作品が創作できました。
支援企業の拡充についても近年のSDGsの盛り上がりから新たに2社との契約が締結できました。また、念願の障害者のアート作品を販売するECサイトも構築でき、今後の自立支援活動に新たな一歩を踏み出すことができました。

事業成果

開設したECサイトをブラッシュアップし、今後は掲載する商品や作品数をさらに拡大したいと思いますが、単なる販売目的ではなく障がい者アートの認知を広げるネット上での広場としても活用していきたいと考えます。より多くの作品を掲載することで障害者アートの認知活動につなげ、「一人でも多くの障害者へ収益を還元する仕組み」を構築し、自立を応援したいと思っています。

総事業費	679,572 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	浦和競馬SDGsプロジェクト～働きがい推進支援事業～
事業名	「自分らしく輝く」女性の多様な働き方提案事業
法人名	特定非営利活動法人 マミング【川口市】



活動内容

上尾市を拠点に埼玉全域を対象に、スキルや資格を生かして活動する女性を対象に正しい知識を身につけプチ経営者として学ぶ機会を作る起業支援と、子育て期の母親達へ情報を伝え、子育てを孤独に感じない居場所づくりの2軸で活動を行っております。

事業取組

「女性の創業支援」の中でも、潜在的起業希望者、起業希望者、起業して間もない方を対象に、プチ起業セミナーと個別相談会を行いました。セミナーは4回実施し、講師による講演のほか各回2名ずつロールモデルの方を呼び具体的な体験を語っていただきました。
コロナの影響により第一回のみオンラインでの開催となりましたが、対面の開催時には無料で託児を可能とするなどより母親達が参加しやすいように工夫しました。

事業成果

市や商工会議所などの公共が主催するものに比べ、敷居が低く参加しやすかったとの声を多数いただきました。また、ロールモデルなど、実際の生の声を聞ける機会が非常に好評でした。
参加者アンケートをみると参加者の90%以上が参加してよかったとの声をいただくことができ、このような企画は一定のニーズがあり、喜んでいただけたことを感じました。中でも多かったのは興味はあるけど何をしたらいいかわからない、自分にもできるのか心配、など「一歩」を踏み出すことの難しさを感じている方が多いことです。
今後も継続してサポートしたいと思っています。

総事業費	310,800 円	助成額	310,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	JT地域とのつながりを“Rethink”SDGs貢献事業
事業名	「地域連携による健康増進活動の拡大」ノルディック・ウォーク100人人材パートナーシップ
法人名	特定非営利活動法人 NORDICあさか【朝霞市】



協働団体

・朝霞市社会福祉協議会 ・特定非営利活動法人リエゾンテール ・株式会社リゾン
 ・一般社団法人東京都ノルディック・ウォーク連盟 ・東都大学生体医工学教授 山下和彦氏 など

活動内容

健康増進のウォーキングエクササイズ、ノルディック・ウォークの普及団体として、
 ①教室(定例会)の実施 月に9回
 ②出張教室の実施 月に8回
 ③市民参加のウォーキング大会の実施 年に1回
 を継続しています。



事業取組

高齢者福祉や、地域の安全、街づくり、子育て世帯の支援等に関わる団体、行政の方々と協働で健康増進活動(主にノルディック・ウォーク教室)を実施しました。協働で推進することにより地域連携を強くでき、この事業が終わった後も更なる活動拡大(定例化等)を計画することができました。
 ノルディック・ウォークは順位もタイムも競いません。お喋りしながら老若男女が交流し、運動できるスポーツです。今回ご参加頂いた方々(延べ368人)には、自らの健康づくりとしてのメタボ・ロコモの改善予防に加え、仲間とのコミュニティづくりにも役立てていただけました。

事業成果

①地域連携のパートナー(100人人材)の拡大:84人(ヶ所)が、106人(ヶ所)に拡大しました。
 ②連携サークル数の増加:11サークルが、17サークルに増加
 上記の活動を通し、多くの方にノルディックウォークを身近なスポーツとして発展させ、健康増進効果を波及させることが出来ました。

総事業費 **519,215 円**

助成額 **500,000 円**

分野指定枠	みどりと川の再生
事業名	熊井の森・里山の味覚満喫食育事業
法人名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム【鳩山町】



活動内容

埼玉県比企郡鳩山町とその周辺を主な活動地域として、環境モニタリング・環境保全・自然観察・文化活動を行い、鳩山町北部地区の里山「熊井の森」の保全と活用のためのナショナル・トラスト活動を行っています。

事業取組

里山「熊井の森」での自然観察会とセットに、その周辺の果実園(柿・芋・栗)を訪ね、収穫体験をし、地元の食材を味わいながら、生産者自身から食材の性質や育て方などのガイダンスを受けるという「里山の食育事業」イベントを実施しました。
 参加者には、「食育テキスト」を配布し、参加者に提供いただいた体験記録の写真等で「熊井の森・味覚満喫1日ツアー写真展」を開催しました。



事業成果

当イベントは法人として初めての取組であり、当初参加者30人(8家族)程度を想定していましたが、結果的に参加者65人と想定した参加者数を大幅に上回る申込みがありました。
 東京近郊の里山の自然と味覚は十分に魅力があり、里山保全と地元の活性化に向けた経済的自立の可能性に手堅い感触を得ることができました。
 今回は「1日ツアー」と銘打ち、すべての企画を1日で実施しましたが、来年度以降は年3~4回の単独企画に分けて、経費軽減と労力の効率化を図り、無理のない、継続性のある事業に育てていきたいと思っています。

総事業費 **381,623 円**

助成額 **205,000 円**

NPO基金への寄附の御案内

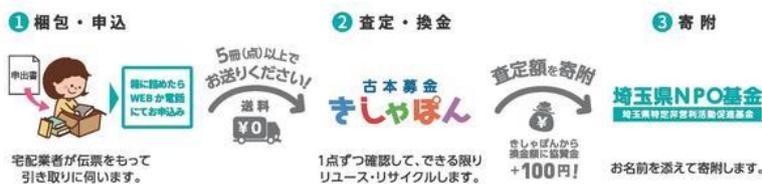
NPO基金を支える2つの寄附の種類

- 1 一般寄附** 活用分野を指定せず、広くNPO活動の支援に活用させていただきます。
- 2 分野希望寄附** 寄附の際に支援したい分野を指定することができます。
令和4年度からは選択できる分野が、従来のNPO法で定められた19の活動分野から、SDGsにおける5つのPに変更となりました。

SDGsにおける5つのP	活動内容の一例（NPO法で定められた活動分野）
人間（People）	保健・医療・福祉、人権、男女共同参画、子どもの健全育成、職能開発・雇用拡充
豊かさ（Prosperity）	社会教育、まちづくり、観光、情報化社会、学術・文化・芸術・スポーツ、科学技術、経済活動
地球（Planet）	農山漁村・中山間地域振興、環境保全
平和（Peace）	災害救援、地域安全、国際協力の活動、消費者保護
パートナーシップ（Partnership）	中間支援・多様な主体の協働

NPO基金への寄附の方法

- 1 専用の振込用紙(寄附申込書)で金融機関からお振込み**
電話・メールなどでお問合せください。専用の振込用紙(寄附申込書)とリーフレットをお送りします。(手数料は無料です)
- 2 「ふるさとチョイス」からクレジットカード・電子マネーで決済**
インターネットサイト「ふるさとチョイス」からクレジットカード決済などで寄附いただけます。寄附が確認できましたら、寄附証明書をお送りします。
(手数料は基本無料ですが一部の決済方法では発生する場合があります)
<https://www.furusato-tax.jp/city/info/11000>
- 3 読み終えた書籍やDVD・はがき等で寄附「コバトン古本募金」**
不要になった書籍などを古本募金きしゃぼん(運営:嵯峨野株式会社)に送付いただくと、査定換金額にきしゃぼんからの協賛金100円が追加された金額がNPO基金に寄附されます。(送料は無料です)書籍のほかにもCD、DVD、ゲーム、切手、はがき、商品券、貴金属、ブランド品などで募金が可能です。



- 電話でのお申込み 0120-29-7000(9時~18時)
- WEBでのお申込み <https://www2.kishapon.com/saitamaken-npo/>



税法上の優遇措置

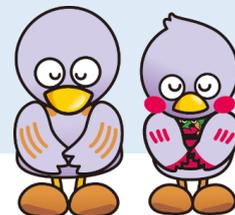
個人の場合

- 所得稅・個人住民稅(ふるさと納稅)
寄附額のうち2千円を超える部分について原則として全額が控除されます。(一定の上限あり)
- 相続稅
相続した財産を申告期限内に寄附した場合、寄附分の財産は相続稅の課稅價格に算入されません。(一定の要件あり)

法人の場合

- 寄附金額の全額を損金算入することができます。
- ※ 稅の控除を受けるためには**確定申告**が必要です。「ふるさと納稅ワンストップ特例制度」を御利用いただくと確定申告が不要となります。(一定の要件あり)詳細については最寄りの稅務署へお問合せください。

税法上の優遇措置に関するお問合せ先
埼玉県総務部稅務課 TEL 048-830-2651



寄附額に応じた特典

1 感謝状・協力証の贈呈

- NPO基金への寄附の累計が、**個人で10万円、団体で50万円以上**の方に知事から感謝状を贈呈します。
- 個人・団体を問わず、**1回の寄附額が1万円以上**の方に協力証を贈呈します。

協力証は埼玉県近代美術館所蔵の名画をデザインしたものに なります。



2 助成事業に寄附者名を明示

年度内に50万円以上の寄附をいただいた方には、寄附を活用して実施する県の助成事業に、応援者としてご自身のお名前や企業のプロジェクト名などを設定することができます。

PRの際はNPO法人の作成する冊子、ポスター、パンフレット、チラシ等に「応援:株式会社〇〇」などと明記させていただきます。

3 バナー広告の掲載

NPO基金への寄附の累計が50万円以上の団体様は、ホームページ「NPOコバトンびん」にバナー広告を掲載することができます。(要申込)

～ワンチームで埼玉版SDGsを推進！～

SAITAMA

社会貢献プロジェクト



埼玉県では、県内の企業・団体の皆様のCSR・社会貢献活動を応援する「SAITAMA社会貢献プロジェクト」をスタートしました。

このプロジェクトでは、**県内企業・団体の皆様のCSR・社会貢献活動を募集**、県ホームページで紹介し皆様の活動を広く発信するとともに、ホームページに掲載された中から、**優れた活動を行う企業・団体を表彰**します。

社会貢献意識の向上を図り、多様な主体の連携・協力を進め、**地域の活性化と埼玉版SDGsの実現**につなげていきます。

申込できる団体

県内に本社、支社、支店、事業所を有する企業・団体
ただし、地域貢献、社会貢献活動を主たる目的とする団体(自治会、NPO法人など)は除く

募集の対象となる活動

CSR・社会貢献活動、地域課題の解決に資する活動

- 地元のお祭りを支援、運営に参加するなど地域コミュニティの活性化に貢献している。
- 事業所周辺の環境美化活動を長年行っている。
- 地域で活動するNPO等に対し、自社施設の提供や寄付などを行っている。 など

※ 対象とならない活動

- ・助成の登用促進など対象が組織内部に限られ、地域との関わりが少ない活動。
- ・令和2年度以前に終了した活動。

申込手続き

- 県ホームページを御確認いただき「埼玉県 電子申請・届出サービス」からお申込みください。
- 申込みに必要な様式等は県ホームページに掲載しています。
- 要件に合致する企業・団体については、順次県ホームページで公開します。
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0302/syakaikouken_pt/index.html

※ 掲載に費用はかかりません。

※ 活動を行う企業・団体ごとに掲載をします。本社のほか、支店等の事業所ごとの掲載も可能です。掲載したい事業所単位でお申込みください。



活動のお悩みを共助社会づくり課がサポートします

資金調達のサポート

クラウドファンディング

インターネットを通じて不特定多数の支援者から資金を集める、資金調達の方法です。

地域の課題を解決する取組の実施に、県を通してクラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」を利用すると手数料の割引が受けられるほか、プロジェクト公開の際は、共助社会づくり課のSNSなどで広報を支援します。

金融機関での融資の相談受付

県内の8つの金融機関と県は協定を締結しており、NPOを対象にした融資商品を紹介するなど、共助社会づくりをサポートする体制を整えています。

- 埼玉りそな銀行 ●埼玉縣信用金庫 ●武蔵野銀行
- 川口信用金庫 ●飯能信用金庫 ●青木信用金庫
- 西武信用金庫 ●日本政策金融公庫

法人運営・事業のサポート

たまサポ（彩の国市民活動サポートセンター）

埼玉県が設置した市民活動を支える中間支援機関です。NPOの設立、運営に関する各種相談を受け付けているほか、専門家による会計・税務相談会も開催しています。また、市民活動関連の図書・資料や打合せスペース、機器の貸出しなど活動場所や機器の提供を行っています。

●たまサポオンラインスタジオ（たまスタ）

撮影機材や音響機器、照明などを備えたスタジオ「たまスタ」では、オンライン会議や動画撮影、映像収録などを行うことができます。

●市民活動コーディネーター

市民活動の知識や経験を豊富に備えた「市民活動コーディネーター」を配置し、活動に関するアドバイスをします。

情報収集のサポート

「埼玉県NPO情報ステーション NPOコバトンびん」

埼玉県NPO基金を活用した事業やNPO向けの民間の助成金、NPO法人の検索などNPO活動に役立つ情報を掲載しています。

<https://www.saitamaken-npo.net/>



NPOコバトンびん

「埼玉県共助の総合ポータルサイト 埼玉共助スタイル」

地域活動に関する情報や共助の取組事例、専門家ボランティア制度など「共助社会づくり」に関する情報を掲載しています。

<https://kyojo.saitamaken-npo.net/>



埼玉共助スタイル

「Saitama共助style」

県内NPO活動や共助の取組事例などの情報を発信するfacebookです。

<https://www.facebook.com/saitama.kyojo.style/>

「ウエルシア薬局」でのNPO関連広報物の配架

ウエルシア薬局(株)の県内各店舗でNPO関連広報物の配架をいただいています。

※ ウエルシア薬局と埼玉県は「共助社会づくりのための協力に関する協定」を締結しており、県内店舗への募金箱の設置や店内のフリースペース「ウエルカフェ」の活用などに御協力いただいています。



Saitama共助style

お問合せ先 埼玉県 県民生活部 共助社会づくり課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048(830)2828

FAX 048(830)4751

E-mail a2835-03@pref.saitama.lg.jp

